

新しい公共支援事業の成果等報告
(業務を受託した中間支援組織等分)

1. 成果報告等

受託業務名	[提案方式導入] 東京都新しい公共支援事業「中間支援組織の育成・強化」事業
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 活動基盤整備支援 <input type="checkbox"/> 寄附募集支援 <input type="checkbox"/> 融資円滑化支援 <input type="checkbox"/> 利子補給 <input type="checkbox"/> その他 (複数回答可)
受託者名	社会福祉法人 東京都社会福祉協議会
実施期間	平成 24 年 10 月 26 日から平成 25 年 3 月 29 日まで
受託金額	39,900,000 円 (税抜 38,000,000 円)
受託内容	<p>1 中間支援組織に対する研修</p> <p>中間支援組織を育成・強化するため、区市町村ボランティアセンターと、NPO 支援を定款に規定している NPO 法人 (約 6,000 団体) を対象として、中間支援組織に求められる知識や機能充実について、研修を実施する。</p> <p>(1) 研修等企画業務</p> <p>(2) 研修実施業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中間支援組織のスタッフに求められる力をテーマとした実践編の 17 講座を企画、実施する。 ・研修に参加できない人も体系的に自主学習できるようにテキストを作成する。 <p>(3) 研修受講状況の管理</p> <p>2 マニュアルの作成</p> <p>多くの中間支援組織が抱えている問題に対処する、使用しやすいマニュアルを企画、作成する。</p> <p>(1) 「中間支援組織活動ハンドブック」として、新しい公共の担い手である、NPO を支える中間支援組織の育成・強化を図るために、中間支援組織が活用できるマニュアルを作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先駆的、実践的な中間支援組織の事例を取り上げ、中間支援組織に必要な機能、力を自然に整理し、理解できる冊子として約 100 ページのマニュアルを作成する。 <p>(2) NPO 法人のうち、定款に特定非営利活動の種類として、NPO 支援を規定している NPO 法人で、下記の 3 における調査の時に回答をした団体で、配布を希望した団体及び区市町村ボランティアセンター等に配布する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6,000 部作成して、上記 NPO 法人等に配布する。 <p>3 NPO 法人 (中間支援組織) の調査</p> <p>NPO 支援を定款に規定している NPO 法人 (約 6,000 団体) を対象に、中間支援組織としての活動実績を把握し、中間支援組織のリストを公表することにより、NPO が中間支援組織を活用してより活発な活動を行える環境を整備するため、中</p>

	<p>間支援組織の調査について企画を行い、実施する。</p> <p>(1) 調査の企画設計、実施、集計、分析を行い、概要と報告書の作成、提出を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記の約 6,000 法人に中間支援活動を行っているか、第 1 次調査を行い、活動を行っているとは回答のあった団体に対して、中間支援組織の具体的な機能、活動規模、支援対象、課題などを調査する。 ・このうち、一般への情報提供を承諾する団体を、対象地域、活動分野、支援内容等のインデックスを付け、団体のプロフィール内容が閲覧可能な状態にする。
<p>得られた成果及び自己評価</p>	<p>1 中間支援組織に対する研修</p> <p>(1) ①実践編 104 団体、マネージメント編 20 団体、ゼミ編 49 団体の参加を得て実施し、それぞれのアンケートで下記の結果を得た。</p> <p style="padding-left: 2em;">*計 111 団体（実数）に研修を実施した。</p> <p>(2) 研修時のテキストをもとに、研修の参加が難しいスタッフへのテキストを 1,200 部作成し、都内の区市町村ボランティアセンター、下記の 3 で中間支援活動を行っているとは回答した NPO 法人へ配布した。</p> <p>2 マニュアルの作成</p> <p>(1) 中間支援組織に求められる機能、中間支援組織として行っている事例、その他で参考になる事例を取材した原稿などにより、マニュアルを作成した。</p> <p>(2) 下記の 3 における調査の時に回答をした団体で、配布を希望した団体及び区市町村ボランティアセンター等に 5,900 部配布した。</p> <p>3 NPO 法人（中間支援組織）の調査</p> <p>(1) 1 次調査で 5,480 団体の NPO 法人に調査を実施し、1,694 団体から回答を得た（回答率：30.9%）。</p> <p>(2) 2 次調査では、378 団体の NPO 法人に調査を実施し、209 団体から回答を得た。（回答率：55.3%）</p> <p>(3) 2 次調査で中間支援活動を行っているとは回答があった 162 団体に情報提供の承諾を取るなどの整理を行い、108 団体のリストを作成した。</p> <p>(4) 3 次調査として、2 次調査で回答のあった団体も含め、他の中間支援組織の参考になる機能を有している中間支援組織 20 団体にヒアリングを行い、マニュアルの作成に反映させた。</p>
<p>評価ランク</p>	<p><input type="checkbox"/> S：特に優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> A：優れた成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B：一定の成果が得られた <input type="checkbox"/> C：限定的である成果が得られた <input type="checkbox"/> D：成果が得られなかった</p>

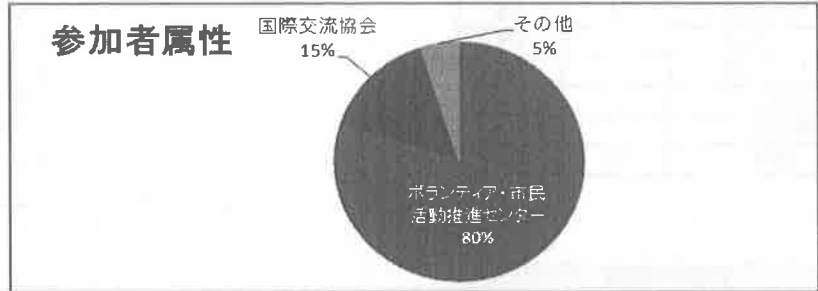
2 添付書類

地域に根ざす中間支援組織スタッフのための支援力アップ塾 アンケート報告

1. 参加者属性

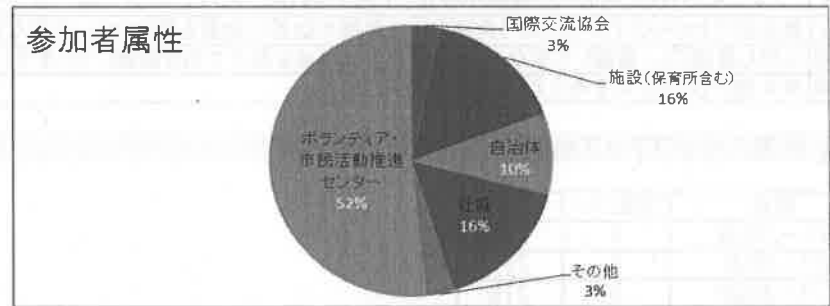
1-1 マネジメント編

分野	参加数
ボランティア・市民活動推進センター	16
国際交流協会	3
その他	1
合計	20



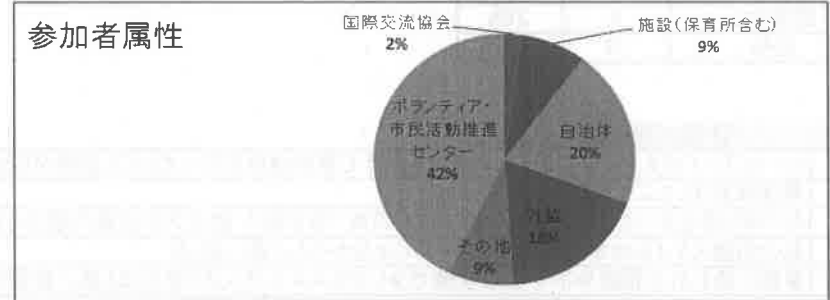
1-2 実務ステップアップ編 「相談を受ける力」

分野	参加数
国際交流協会	1
施設(保育所含む)	5
自治体	3
社協	5
その他	1
ボランティア・市民活動推進センター	16
合計	31



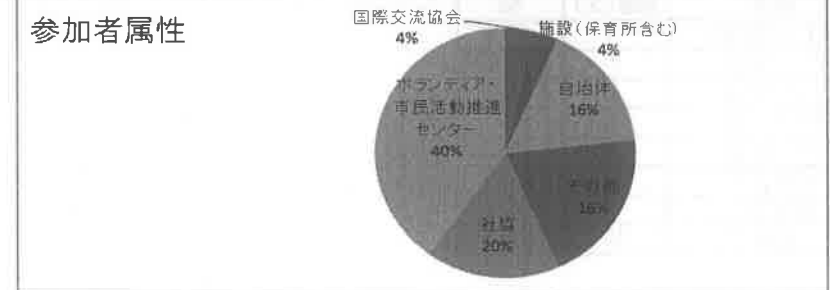
1-3 実務ステップアップ編 「協働を調整する力」

分野	参加数
国際交流協会	1
施設(保育所含む)	4
自治体	10
社協	9
その他	4
ボランティア・市民活動推進センター	21
合計	49



1-4 実務ステップアップ編 「市民活動に寄り添う力」

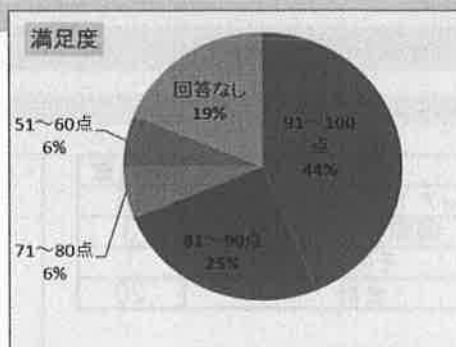
分野	参加数
国際交流協会	1
施設(保育所含む)	1
自治体	5
社協	6
その他	5
ボランティア・市民活動推進センター	12
合計	30



2. 参加者の満足度調査

2-1 マネジメント編

得点	回答(人)	%
91~100点	7	44%
81~90点	4	25%
71~80点	1	6%
61~70点	0	0%
51~60点	1	6%
50点以下	0	0%
回答なし	3	19%
全体	16	100%



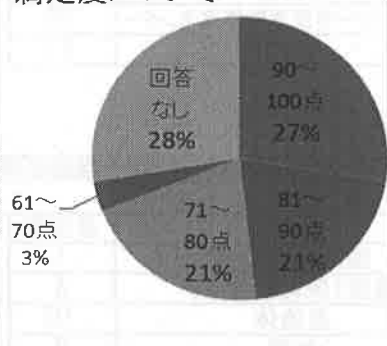
評価の理由

60点	研修の組み立て内容という事ではなく、自分の理解が上手くできなかった。感覚としてうまくのみこめている。
90点	グループワークのあとにアドバイスがあり理解が深まった。同じレベルの参加者同士で、理解し合える関係であった。
90点	ボラセン事業を意識してミッション・ビジョンを描き出すことができて良かったです。
90点	「マネジメント」というものへの理解が不足しており、内容についていくことで精一杯だった。
92点	具体的でわかりやすく、又ちがう角度からの指摘や助言に刺激を受けつつ、大変な宿題を出されたと感じた。
100点	ふだん見過ごし、意識して来なかったさまざまな視点を教えて頂き感謝しています。
100点	来年度からの5か年を考えるいい時間がもてました。

2-2 実務ステップアップ編 「相談を受ける力」

得点	回答(人)	%
91~100点	8	28%
81~90点	6	21%
71~80点	6	21%
61~70点	1	3%
51~60点	0	0%
50点以下	0	0%
回答なし	8	28%
全体	29	100%

満足度について



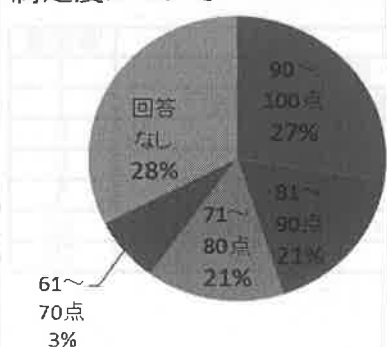
評価の理由

75	ロールプレイでは少しつまづいたが講義を受けて事例検討を行ってとても視野が広がった
95	事例検討をしたことで具体的にわかった
90	私の知り得なかったことが理解できたくさんの気づきがあり、他の方の活動内容から勉強になった
80	私の相談スタイルは本当の相談スタイルじゃなかったと思いました
100	業務に追われて相談や不十分な状態で少しでもスキルアップできればと思い参加できてよかった

2-3 実務ステップアップ編 「協働を調整する力」

得点	回答(人)	%
91~100点	11	28%
81~90点	7	18%
71~80点	6	15%
61~70点	3	8%
51~60点	0	0%
50点以下	0	0%
回答なし	13	33%
全体	40	100%

満足度について



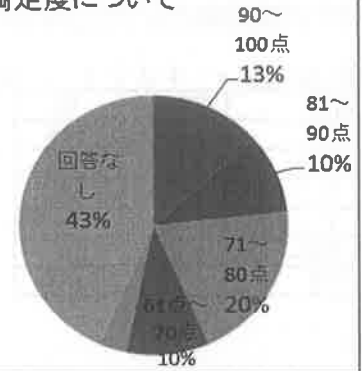
評価の理由

75	特に企業との協働と、自己分析のところはとても良かった。重複感があった。
85	具体的に協働が成功した事例、逆に上手くいっていない事例などもお聞きしたかったです。
90	午前、午後と違う内容で研修がうけられた点がとても良かったです。
95	予想以上に様々な気づきを頂きました
100	協働ってとても情熱的に進めるものなのだと改めて感じました、つなげる可能性を体験できたと思います。

2-4 実務ステップアップ編 「市民活動に寄り添う力」

得点	回答(人)	%
91～100点	4	13%
81～90点	3	10%
71～80点	6	20%
61～70点	3	10%
51～60点	0	0%
50点以下	1	3%
回答なし	13	43%
全体	30	100%

満足度について



評価の理由

70	NPO設立、運営のお話しはもう少し事例を出して紹介する形式がよかった
85	他の自治体の話も聞けて参考になりました。
90	もう少し時間を取って講義を聞きたかったです。
100	なんとなく理解していたNPO、認定NPOについてとても理解が深まった。これからの相談に役立てたい。
100	グループワークでは、他の地域の悩みや事例も分かり、効果的な研修で良かったです。

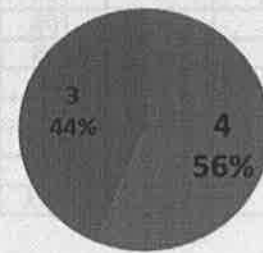
3. 参加者の理解度調査

3-1 マネジメント編

(評価)出来た ← 4・3・2・1 → 出来なかった

評価	回答(人)	%
4	9	56%
3	7	44%
2	0	0%
1	0	0%
回答なし	0	0%
全体	16	100%

講義や演習内容の理解

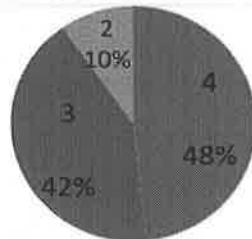


3-2 実務ステップアップ編「相談を受ける力」

(評価)出来た ← 4・3・2・1 → 出来なかった

評価	回答(人)	%
4	15	48%
3	13	42%
2	3	10%
1	0	0%
回答なし	0	0%
全体	31	100%

講義や演習内容の理解

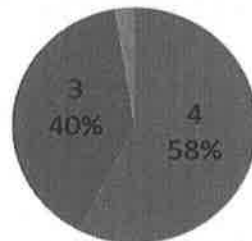


3-3 実務ステップアップ編「協働を調整する力」

(評価)出来た ← 4・3・2・1 → 出来なかった

評価	回答(人)	%
4	23	58%
3	16	40%
2	0	0%
1	0	0%
回答なし	1	3%
全体	40	100%

講義や演習内容の理解

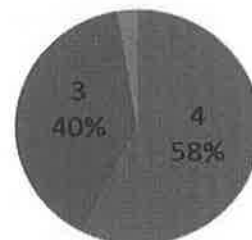


3-4 実務ステップアップ編「市民活動に寄り添う力」

(評価)出来た ← 4・3・2・1 → 出来なかった

評価	回答(人)	%
4	23	58%
3	16	40%
2	0	0%
1	0	0%
回答なし	1	3%
全体	40	100%

講義や演習内容の理解



4. 参加者自由記述(抜粋)

4-1 マネジメント編 (問)今回学んだことを3つ書いてください

①	②	③
ミッションは大事な事、その認識	ビジョンの作り方	3年計画の作成方法
目的をはっきりさせるとおのずとやることが見えてくる	将来を見据えた事業計画	事業を組み立てる際のポイント
ミッション・ビジョンを持つことの大切さ	チーム内で共通認識をもつこと	職場でのコミュニケーション、会議の大切さ
外部、地域の声をよく聞くこと	日々、アンテナを立て考えること	地域の社会課題の把握なしに我々の活動はない
ゴールのないマラソンをさせない	理想を指し示しチームワークをもって仕事する	マネージャーは自ら金をとってくる

4-2 実務ステップアップ編「相談を受ける力」 (問)今回学んだことで職場に持ち帰りたいこと

・事例検討を月に1度でもしてみたい	組織として方向性を同じにするため。個とし見ない、面として見る。
・利用者の言葉の背景にあるもの、内なるものに耳を傾けていく	相談は決して一人で行うのではなく事例検討会を重ねてよりよい解決策を探していくことが改めて必要と学んだ
・焦らず、ゆっくり、かまえず、待つて祈ります	ひとつひとつのケースを丁寧に受け止め、対応していけたらいいと思います、自分自身を高めながら。
・何故を問い続け、多面的な捉え方をする	職場で共有することで、又、自分自身も成長していくことができると思った

4-3 実務ステップアップ編「協働を調整する力」 (問)今回学んだことで具体的に実践したいこと、その理由

①あきらめないこと！！ ②きちんと見せること、知ること ③楽しむこと、その仕組みをつくること	なかなか上手くいかないことも多いなか、失敗がありますが、あきらめちゃいけないのだと思いました！！仕組みづくりや具体的な解決策が見つかったような気がします。
①会議前に自分のイメージトレーニングをする ②参加者が考える時間をつくる ③冒頭の意見もきちんととるキャッチャー	少しの心がけで会議も変わる！！実践したいと思います。
①企業・行政とマメにコンタクトをとる ②会議の仕方の工夫 ③職場にキックバック	今日得たことをスタッフで共有するために報告だけでなく、一個でも実践したいです

4-4 実務ステップアップ編「市民活動に寄り添う力」 (問)今回学んだことで具体的に実践したいこと、その理由

①年間スケジュールを示す ②選択肢をたくさん見せる ③事例を知る	団体と団体を繋ぎ、寄り添いたい
①定款の書き方について ②登記について ③相談の案件	定款、登記等について、詳しい知識がなかったので、次回からは詳しく相談に乗りたいと思います。団体のつなぎ役になる、相談の幅が広がったように思います。
①今まで以上に深く相談にのりたい ②NPOの事をもっと勉強したい	NPOについては、もっと勉強しなければと思いました。
①NPO法人設立の手順を復習する ②市民活動について復習する ③ボランティアコーディネーションについて復習する	昨夏から学んだ多くの事を生かして仕事に取り組みたい、市民や団体を巻き込んだ課題解決ができるようになればと思っています。

坂本ゼミ 回答率8/11

ゼミの満足度	84.4	(100点満点)
日常業務に向かう意識の変化	3.38	(4点満点)
講義や演習の内容への理解	3.38	(4点満点)
実務ゼミの組み立てや流れ	3.38	(4点満点)

課題発見や設定中心。課題解決まで行き着かなかった。より多彩な顔ぶれの参加があるとなおよかった
 対応検討中のケースを多面的に考えられた。得た知識を自分に落とし込むまでは難しい
 全員が主体性を持って取り組めた
 地域の課題でなく、日常業務での課題に終始してしまい反省もある。より、多彩な参加者が増えたとよい。ゼミ生から受けた刺激、励ましに満足できるものが
 対応に苦慮ケースを、立場の違いと少人数で議論でき、講師からのアドバイスも有意義
 地域課題に取り組む意識学んだ。さすがと思わせる組立だったが時間が少なかつた
 ボランティア活動継続させるゼミ生と学んだ。地域との交流の仕方、視野の持ち方を深め、施設として一歩踏み出せるようになった。参加するたび気づきが
 異なる分野で活躍するゼミ生と業務が関連しないことも多かつたが、問題へアプローチするプロセスや考え方に共通点があった。講師、異分野の中間支援
 のゼミ生との出会いが良かった

唐木ゼミ 回答率5/5

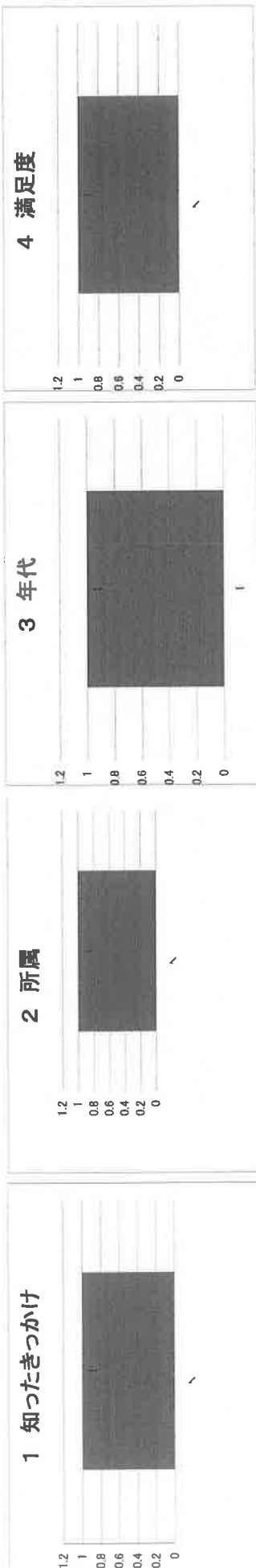
ゼミの満足度	93	(100点満点)
日常業務に向かう意識の変化	3.8	(4点満点)
講義や演習の内容への理解	3.4	(4点満点)
実務ゼミの組み立てや流れ	3.6	(4点満点)

2回しか参加できず、十分理解できなかったか不安
 うまくいかなかった相談ケースの見通しが出来た。他のゼミ生の相談ケースの検討からも学びが多かつた。日常変化での意識の変化に繋がった。今回の
 相談手法や人脈を今後に繋げたい
 気持ちが正された。受けて良かった。ゼミの組み立てはわかりやすかつた。相談を知識的に捉えられた実践に繋がりたい
 日常業務の振り返りの機会に成り、業務意識の変化があった。平日夜で出席率低かつた時間設定に工夫の余地があるかも
 他地域のボランティアコーディネーターとのゼミは刺激的だつた。地域ごとの違いを感じ、自分の地域や職場状況を整理出来た。自己流で無い、記録の作り
 方のポイントを学べた

首野ゼミ 回答率5/7

ゼミの満足度	90	(100点満点)
日常業務に向かう意識の変化	3.4	(4点満点)
講義や演習の内容への理解	4	(4点満点)
実務ゼミの組み立てや流れ	3.6	(4点満点)

同じ悩みを持つ仲間と出会えた。現場訪問では、自分の組織に足りない所、力を付けるべきところかわかつた。訪問で、課題解決に取り組む姿勢、リー
 ダーシップ、運営や広報について考えを学べた。失敗を失敗に終わらせず、次に繋げることを業務で活かしたい。
 満足。異なる分野の中間支援の人との交流は貴重な機会だつた。ゼミ発表の組み立てを余裕を持って出来たらよかった。ゼミ訪問でも振り返りを丁寧に出
 来たら良かった。
 少人数で、各立場、職場課題を共有して意見交換できた。現場視察で、自分なりの中間支援組織のあり方や課題を見つけた
 現場訪問の施設選定、時間配分とも適切で得るもの多かつた。社協系は1箇所にして、民間センターがあつても良かった
 中間支援組織に求められる要素や能力を改めて見直す機会となつた。振り返りの時間の時間がもう少し欲しかった。民間組織がもう一つ見学先でも良かった



4 理由・感想【※抜粋】

ケース検討ゼミの内容が良く理解できる運営でよかった。来年の開催が期待される。組織して受けさせたくなくなる内容でした。(このようなゼミ研修なら、出したいと思う)育つな～。ネットワークが出来ると

仕事で感じた課題を解決するヒントをもらったり、仕事で感じた手ごたえを振りかええる機会となった。中間支援組織の学びの場というのは有りそうで無いので、次回は参加してみたい。
 唐木ゼミ→需給調整だけの中間支援組織ではなく、相談を受け取って、支援の形を作っていける事が大切だと学べました。坂本ゼミ→問題を面として捉えていく、地域にあるブレイヤーを挙げていくこと、それと面を向かい合わせていくことが、必要だと感じました。菅野ゼミ→共感できる意見が多く聞けました。提示された”もやもや”は共感する部分が多くありました。
 “支援方アツク”申し込み予定が断念したので、この研修を受講できてよかったです。同じ研修でもゼミの違いにより、全然違うものに見える、なおかつたどどりの同じものなのかあって、一緒に考えることができよかったです。山崎所長の言葉が心にしみみます。1人1人を大切にすることでいくのか、組織は人なり。一人一人のその人らしくその人と生きていけるよう支援したいです。

途中のグループ討論は、ガイドが無かったが好き勝手になった。山崎所長の話しはとて興味深く、山崎所長の話しをもっと聞きたいと思った。菅野ゼミの発表はそれぞれ訪問した団体のプロフィール情報が少なかった為、その後の発表の内容がつかみづらかかった。

5 関心を持っている社会的課題【※抜粋】

共通の課題として自立のための財源の確保、人材の育成と確保が特に関心があります。
 行政のいろんな制度のカベを突破するには、どうしたらよいか？
 中間支援組織の人材育成・ケア(今日の話を受けて)、離職していく人、バーンアウトしていく人、メンタルケアを必要とする人、そういったスタッフに出会うことが多くあった。想いやミッションを持った人材をどうやって継続して活動できるようにサポートしていくか、それを考えていきたい。
 地域特有の利害関係がある中で、地元の活動団体や自治体・企業・学校等を結びつけ、ある目的・目標に向けてできるだけ同じ方向へ向かう力に束ねることに難しさを感じます。地元のお母さんたちや子供たちが気軽に参加したくなる、多様な人たちの巻き込み取り組みになるようなきっかけづくり・情報提供。
 大学がなく、若者が少ない地域においてどのように、地域活性化をけん引していくか。